

科目	マルチメディア情報論(再)	担当	山田 正人	履修学年	1年
時間数	90分×時限×32回(週2回)	履修区分	必修	単位数	4単位
<p><b>【授業目標・到達目標】</b>  現代はマイクロソフトウィンドウズなどにもペイントなど画像の、サウンドレコーダーで音の編集できるソフトウェアが添付されている。アニメーションなど日本の産業を担うコンテンツ産業は、拡大の一途をたどっている。マルチメディアは、視覚、聴覚、触覚などを扱う。基本的なマルチメディアファイルの作成、また数多くのファイルを取り扱うことができる。  本講義では、まず1.オブジェクトをつくる、2.1枚のスライド、3.複数枚で構成するプレゼンテーションをつくる、4.ホームページを作る、の、4段階を実習する。  パワーポイントの見方、作り方がわかるようになる。その他のファイルの使いかたも同様。マルチメディアを応用して、インターネット上でページを作り、自己紹介することができることを必至の目標としている。</p> <p><b>【履修注意】</b>  授業は、はじめに要点を述べる。その結果をレポートとして出してもらおう(30-45分)。その後、実習課題作品にとりかかってもらおう。通常①、②を用意しており双方とも出していただく。  問題を理解せず、課題だけを出しても意味はない。何を目標として作業を進めるのかを聞いてほしい。実習課題作品は、以前の回の提出物を素材として使う。</p> <p><b>【評価方法】</b>  すべての作品を出していると60点を与える。出していない作品の分は一つの作品毎に10点から30点(最終作品:最後の提出物であり、それまでのすべての作品を含む)減点する。テストの点を考慮の上、最終成績を決める。</p> <p><b>【試験について】</b>  ペーパーテストを、中間・期末に行う予定。レポートの内容から設問を設定する。</p> <p><b>【予習・復習】</b>  再履修の科目であり、前年のマルチメディアの内容を思い出してほしい。</p> <p><b>【教科書】</b>  WBTより、教材、教科書をDLすること。</p> <p><b>【参考書】</b></p> <p><b>【その他の注意事項】</b></p> <p><b>【授業計画・内容】</b>  1~6 オブジェクトをつくる(文字と図や絵を書きます)  1・2 プロダクティブコロボ、写真の余白をトリミングでとる、履歴書の自己分析  3・4 自分の代わりにする文字(ロゴ)と絵(マスコット)と、プリクラ、自己紹介文  5・6 文字と言葉と、表紙を創る  7~13 アニメーションをつくる  7・8 玉の表現、A3縦の広告ポスター、ポスターの要件  9・10 3D立体表現、時間とアニメーションのしくみ、アニメーションの設定  11・12 音声の取り扱い1、いろいろなアニメーションと、動く広告ポスター  13 復習  14 中間のまとめ1  15~23 プレゼンテーション作品を作ります(自己アピールもします)  15・16 音声の取り扱い3、あらすじ(シナリオライティング)と写真アルバム、アルバム  17・18 デザインを創る、物語(ストーリー展開)と自己アピール  19・20 カウントダウンとハイパーリンク、デジタルサイネージ、インスタグラムとSNS  21・22 ビジネスプレゼンテーション(就職に際して、星城大学生(自分)を売り込むために)。  23 復習  24 中間のまとめ2  25~30 WEB上にHPを作ります  25・26 ホームページを作る①(マルチメディア情報論のパーツ)  27・28 ホームページを作る②(マルチメディア情報論の作品)  29・30 ホームページを作る③(マルチメディア情報論のページ:ポータル)  31・32 総まとめ</p>					